

## ATP依存性T4 RNAリガーゼ (T4 RNA Ligase I)

Cat. No. COV-015

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** この製品は、E coliによって組換え発現されたATP依存性T4 RNAリガーゼ (T4 RNA Ligase I) です。この酵素は、オリゴヌクレオチド、一本鎖RNAおよびDNAの間の分子間/分子内5'-PO4および3'-OHの間にリン酸ジエステル結合を形成する反応を触媒します。

### 製品情報

|      |  |
|------|--|
| 由来   | E. coli  |
| 形態   | 透明な液体  |
| 純度   | 純度 $\geq$ 95%、宿主DNA残留 $\leq$ 100 pg/mg、宿主タンパク質残留 $\leq$ 50 ppm、エンドトキシン残留 $\leq$ 10 EU/mg、RNaseなし、エンドヌクレアーゼなし、エクソヌクレアーゼなし、プロテアーゼ残留なし、無菌、マイコプラズマフリー。 |
| 活性   | 10 U/ $\mu$ L  |
| 緩衝液  | 50 mM KCl、10 mM Tris-HCl、1 mM DTT、0.1 mM EDTA、50 % グリセロール (pH 7.4 @ 25°C)  |
| 単位定義 | 1ユニットは、37°Cで30分間に1ナノモルの5'-[ <sup>32</sup> P] rA16をホスファターゼ耐性型に交換するのに必要な酵素の量として定義されます。   |

### 保管・発送情報

**保存方法** -25から-15 °Cで (繰り返しの凍結-解凍サイクルを避けてください)